

**【件名】 新型コロナワクチンと他ワクチンとの接種間隔の間違ひに関するお詫びとご報告**

このたび 2022 年 11 月 13 日(日)に、大分市の委託により当院が運営している新型コロナワクチン接種センターにおいて、新型コロナワクチンと他のワクチンの接種間隔を間違ひて接種する事案が発生しました。2 週間の間隔を置くべきところ、それに満たない日数での接種事例です。このため過去に同様の間違ひがなかったか確認が必要と考え、2022 年 11 月 15 日現在のべ 104,980 件の予診票をもとに全例調査を実施したところ、同様の間違ひが新たに 3 件発覚しました。度重なる不手際を心からお詫び申し上げます。

**【症例 1. 小児 (12 歳以上)】**

A 月 B 日かかりつけ医で 2 種混合ワクチンの接種を受け、A 月 B+6 日に 3 回目の新型コロナワクチンを接種希望され当センターにお越しになりました。接種医は家族から接種間隔に関して事前に相談を受けましたが、接種可能と判断して通常通り接種を行いました。

**【症例 2. 小児 (12 歳以上)】**

C 月 D 日かかりつけ医で日本脳炎ワクチンの接種を受け、C 月 D+10 日に 3 回目の新型コロナワクチンを接種希望され当センターにお越しになりました。接種医は、問診後に接種を行いました。

**【症例 3. 成人 (18 歳以上)】**

E 月 F 日かかりつけ医で B 型肝炎ワクチンの接種を受け、E 月 F+7 日に 3 回目の新型コロナワクチンを接種希望され当センターにお越しになりました。接種医は、問診後に接種を行いました。

**【症例 4. 成人 (18 歳以上)】**

G 月 H 日かかりつけ医で肺炎球菌ワクチンの接種を受け、G 月 H+13 日に 4 回目の新型コロナワクチンを接種希望され当センターにお越しになりました。接種医は、問診後に接種を行いました。

**【発生後の対応】**

症例 1 の間違ひが発覚後、同日に関係者を招集してヒアリングを実施し、接種間隔の間違ひを確認しました。院長よりご家族にご連絡し、接種間隔の間違ひに関して経過を説明して謝罪しました。あわせて大分市保健所に間違ひの報告を行い、指定の報告書を提出しております。また、過去に同様の間違ひが生じていないか全例調査を指示し、のべ 104,980 件の予診票を確認したところ、新たに 3 件、接種間隔の間違ひが発覚しました。同日中に接種者（小児は保護者）に連絡をとり、健康上問題がないことを確認した上、接種間隔の間違ひに関して謝罪しております。症例 1 と同様に大分市保健所には電話連絡を行なっており、指定の報告書を提出予定です。

### 【接種間隔を間違った要因】

- ・いずれの症例も予診票に2週間以内に予防接種を受けたとの記載があり、医師記入欄にもチェックの記載がありました。4例中3名の接種医は現在当院を退職しており、当時の詳細な検証はできておりません。しかし接種間隔に制限のないインフルエンザワクチンと同じ扱いでよいと誤認していたこと、従来の不活化ワクチンの接種間隔は1週間で実施していたことなど、知識の整理ができていなかったことが原因であった可能性が高いことが主因と考えます。
- ・看護師は、医師と同じくコロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔に関しては誤認していたことがヒアリングで判明しております。
- ・一部の職員は接種間隔の間違いを認識しておりましたが、医師の最終判断に一任していたことも確認できております。

### 【具体的な対策】

- ・当院職員と派遣職員全員に対して今回の接種間隔の間違い事案の周知を行い、正しい接種間隔の知識に関して再度周知しております。
- ・接種会場では始業と終業時に職員の定時ミーティングを行い、当日のスケジュールや接種に関する注意点などの情報共有の場を設けるようしております。
- ・接種間隔の条件を満たさない場合は、受付時—予診票記載時—問診時のすべて段階で、予約取り直しを進言できる権限を職員に与えることにしております。
- ・接種間隔に関する最新情報を閲覧できるように会場内に複数の掲示を行いました。

以上、今回の接種間隔の間違いに関するご報告と対策をご説明申し上げます。

接種をお受けになった方とご家族にはたいへんご心配をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

2022年11月16日

大分こども病院 院長 久我修二